

【下水道施設土木工事編】添付資料 30 下水道工事（土木）出来高査定運用基準（案）		経年変化に伴う見直し	P. 添 30-1
現行		改訂	
下水道工事（土木）出来高査定運用基準 平成15年3月 都市環境局 （平成19年4月組織改正により建設局）		下水道工事（土木）出来高査定運用基準 平成23年11月 建設局	

【下水道施設土木工事編】添付資料 30 下水道工事（土木）出来高査定運用基準（案）		経年変化に伴う見直し	P. 添 30-2
現 行		改 訂	
下水道工事（土木）出来高査定運用基準		下水道工事（土木）出来高査定運用基準	
本運用基準は、中間検査時における出来高査定に適用する。		本運用基準は、中間検査時における出来高査定に適用する。	
1. 出来高対象部分は、契約図書に基づく監督職員の検査に合格した施工済み部分及び検査済み材料をいう。 2. 出来高金額は、工事内訳書の内訳に合わせた出来高数量に、単価を乗じて算出するものとする。 3. 出来高認定は、別表の「下水道工事（土木）出来高認定率」によるものとする。 なお、これにより難しい場合は１００％を限度として認定することができる。 4. 「下水道工事（土木）出来高認定率」により難しいものは、別途算出した認定率によるものとする。 5. 出来高数量が契約数量を超えている場合（以下「超過数量」という。）で、単価が変わらないものは、その出来高数量まで認定することができる。 但し、次に示す範囲内において実施することとする。 ① 各工種毎の超過数量は、当該工種に係る当初契約数量の２０％を超えないこと。 ② 各工種毎の超過数量で２０％を超える工種がある場合は、当該工種について ２０％を限度として認定することができる。 ２０％を超える部分については、設計変更をしたうえでこれを認定することができる。 なお、契約数量を超える認定をした場合、直近の設計変更において、必ず設計変更を行い、契約数量以内にしておくこと。 ③ 一式表示による工種については、１００％を限度として認定することができる。 ④ 各工種の認定額の合計が契約金額を超えるときは、契約金額未満とする。 6. 中間出来高工事価格は千円止（千円未満切捨）とする。 7. 出来高に関して別表により難しいもの、又は疑義が生じた場合は、検査担当課及び設計所管課合議のうえ、財政局と協議するものとする。 8. 出来高の対象となった製品（工場保管の製品）については、大阪市長を受取人として、出来高査定相当額の銀行保証書又は履行保証保険証を提出させるものとする。		1. 出来高対象部分は、契約図書に基づく監督職員の検査に合格した施工済み部分及び検査済み材料をいう。 2. 出来高金額は、工事内訳書の内訳に合わせた出来高数量に、単価を乗じて算出するものとする。 3. 出来高認定は、別表の「下水道工事（土木）出来高認定率」によるものとする。 なお、これにより難しい場合は１００％を限度として認定することができる。 4. 「下水道工事（土木）出来高認定率」により難しいものは、別途算出した認定率によるものとする。 5. 出来高数量が契約数量を超えている場合（以下「超過数量」という。）で、単価が変わらないものは、その出来高数量まで認定することができる。 但し、次に示す範囲内において実施することとする。 ⑤ 各工種毎の超過数量は、当該工種に係る当初契約数量の２０％を超えないこと。 ⑥ 各工種毎の超過数量で２０％を超える工種がある場合は、当該工種について ２０％を限度として認定することができる。 ２０％を超える部分については、設計変更をしたうえでこれを認定することができる。 なお、契約数量を超える認定をした場合、直近の設計変更において、必ず設計変更を行い、契約数量以内にしておくこと。 ⑦ 一式表示による工種については、１００％を限度として認定することができる。 ⑧ 各工種の認定額の合計が契約金額を超えるときは、契約金額未満とする。 6. 中間出来高工事価格は千円止（千円未満切捨）とする。 7. 出来高に関して別表により難しいもの、又は疑義が生じた場合は、検査担当課及び設計所管課合議のうえ、財政局と協議するものとする。 8. 出来高の対象となった製品（工場保管の製品）については、大阪市長を受取人として、出来高査定相当額の銀行保証書又は履行保証保険証を提出させるものとする。	
附 則		附 則	
1. 本運用基準は、平成 <u>15</u> 年 <u>3</u> 月 <u>10</u> 日より適用する。 2. <u>「新土木工事積算大系」以前の設計による発注工事については、従来の運用基準「平成３年３月版」によるものとする。</u>		1. 本運用基準は、平成 <u>23</u> 年 <u>11</u> 月 <u>1</u> 日より適用する。	

【下水道施設土木工事編】添付資料 30 下水道工事（土木）出来高査定運用基準（案）				経年変化に伴う見直し				P. 添 30-3				
現 行						改 訂						
別 表 下水道工事(土木)出来高認定率						別 表 下水道工事(土木)出来高認定率						
分類	種別・細別		認 定	認定率	備 考	分類	種別・細別		認 定	認定率	備 考	
土 工 事	管 路 土 工	管路掘削	(管きょ工事の本管部) 1・建込式の土留めの場合、本体出来高延長部分に対応する掘削量とする。 2・打込式の土留め、横矢板土留めの場合、実掘削量とする。	100%	連続する本体出来高延長間のマンホール部分は、築造未了でも出来高延長に含むことができる。 (注3)	土 工 事	管 路 土 工	管路掘削	(管きょ工事の本管部) 1・建込式の土留めの場合、本体出来高延長部分に対応する掘削量とする。 2・打込式の土留め、横矢板土留めの場合、実掘削量とする。 (管きょ工事の取付管部) 取付管出来高延長部分に対応する掘削量とする。 (立坑工)	100%	連続する本体出来高延長間のマンホール部分は、築造未了でも出来高延長に含むことができる。 (注3)	
			(管きょ工事の取付管部) 取付管出来高延長部分に対応する掘削量とする。	100%					(管きょ工事の取付管部) 取付管出来高延長部分に対応する掘削量とする。 (立坑工)	100%		
			(立坑工)	100%					実掘削量とする。	100%		
			実掘削量とする。	100%					実掘削量とする。	100%		
		管路埋戻	(管きょ工事の本管部) 実埋戻量で転圧完了、検査済み(但し、本体出来高延長以内とする。)	100%	(注3)			管路埋戻	(管きょ工事の本管部) 実埋戻量で転圧完了、検査済み(但し、本体出来高延長以内とする。)	100%	(注3)	
			(管きょ工事の取付管部) 実埋戻量で転圧完了、検査済み(但し、取付管出来高延長以内とする。)	100%					(管きょ工事の取付管部) 実埋戻量で転圧完了、検査済み(但し、取付管出来高延長以内とする。)	100%		
			(立坑工) 実埋戻量で転圧完了、検査済み。	100%					(立坑工) 実埋戻量で転圧完了、検査済み。	100%		
			発生土処理	(管きょ工事の本管部、取付管部) 処分完了で管路掘削で認定した数量以内とする。 (立坑工)					100%			発生土処理
		処分完了で管路掘削で認定した数量以内とする。		100%	処分完了で管路掘削で認定した数量以内とする。		100%					
		掘 削 工		(処理場工事等) 実掘削量とする。	100%		(注1) (注3)	掘 削 工	(処理場工事等) 実掘削量とする。		100%	
		泥土浚渫工	処分完了、検査済み	100%			泥土浚渫工	処分完了、検査済み	100%			
	埋 戻 工	(処理場工事等) 実埋戻量で転圧完了、検査済み。	100%	(注1) (注3)	埋 戻 工	(処理場工事等) 実埋戻量で転圧完了、検査済み。	100%	(注1) (注3)				
		作業残土処理工	(処理場工事等) 処分完了で掘削工で認定した数量以内とする。	100%		(注1)	作業残土処理工	(処理場工事等) 処分完了で掘削工で認定した数量以内とする。	100%	(注1)		
	盛 土 工		1・出来高確認済み。 <u>(流出の恐れのないもの)</u> 2・施工完了、検査済み。 (土留め、法面保護等完了済みのもの)	80%		盛 土 工		1・出来高確認済み。 <u>敷き均し、転圧完了済み</u> 2・施工完了、検査済み。 (土留め、法面保護等完了済みのもの)	80%			
		100%	100%									
	仮 設 工 事	土 留 工	木矢板土留 軽量鋼矢板土留 (建込式)	1. 矢板建込完了 2. 矢板撤去完了 但し、本体出来高延長以内とする。	60% 100%	(注4)	仮 設 工 事	土 留 工	木矢板土留 軽量鋼矢板土留 (建込式)	1. 矢板建込完了 2. 矢板撤去完了 但し、本体出来高延長以内とする。	60% 100%	(注4)
				軽量鋼矢板土留 (打込式) 鋼矢板土留 鋼管矢板 親杭横矢板土留 (H杭鋼)	(打抜きで支保工含む場合) 1. 打込完了 2. 支保工架設完了 3. 支保工撤去完了 4. 引抜完了					40% 50% 70% 100%	(打抜きで支保工含まない場合) 1. 打込完了 2. 施工中のもの 3. 引抜完了	
			(打抜きで支保工含まない場合) 1. 打込完了 2. 施工中のもの 3. 引抜完了		50% 認定による 100%				(打抜きで支保工含まない場合) 1. 打込完了 2. 施工中のもの 3. 引抜完了	50% 認定による 100%		
(存置の場合) 1. 打込完了(材料費を含む) 但し、頭部処理がない場合は打込完了で100%とする。 2. 頭部処理完了					80% 100%					(存置の場合) 1. 打込完了(材料費を含む) 但し、頭部処理がない場合は打込完了で100%とする。 2. 頭部処理完了		

【下水道施設土木工事編】添付資料 30 下水道工事（土木）出来高査定運用基準（案）				経年変化に伴う見直し		P. 添 30-4														
現 行						改 訂														
別 表 下水道工事(土木)出来高認定率						別 表 下水道工事(土木)出来高認定率														
分類		種別. 細別		認 定		認定率		備 考		分類		種別. 細別		認 定		認定率		備 考		
仮設工事	土留工	親杭横矢板土留（横矢板）		1. 横矢板設置完了 2. H杭引抜完了又は、H杭頭部処理完了		70% 100%				土留工		親杭横矢板土留（横矢板）		1. 横矢板設置完了 2. H杭引抜完了又は、H杭頭部処理完了		70% 100%				
		鋼製支保		1. 支保工架設途中及び本体工事施工中のもの 2. 支保工撤去完了		認定による 100%		(注4)				鋼製支保		1. 支保工架設途中及び本体工事施工中のもの 2. 支保工撤去完了		認定による 100%		(注4)		
		路面覆工		(管きょ工事、立坑工の場合)		40%						路面覆工		(管きょ工事、立坑工の場合)		40%				
				1. 設置完了 2. 撤去完了		100%								1. 設置完了 2. 撤去完了		100%				
				(処理場工事等)		60%		(注1)						(処理場工事等)		60%		(注1)		
				1. 覆工完了(通行可能なもの) 2. 撤去完了		100%								1. 設置完了(通行可能なもの) 2. 撤去完了		100%				
	ライナープレート式土留工及び土工		1. 掘削完了 (掘削途中は、 $v/V \times 90\%$ とする。) 2. 埋戻し、撤去完了		90% 100%						ライナープレート式土留工及び土工		1. 掘削完了 (掘削途中は、 $v/V \times 90\%$ とする。) 2. 埋戻し、撤去完了		90% 100%					
	連続地中壁工（コンクリート壁）		作 業 床		コンクリート打込完了、確認済み		80%		但し、左記の認定により 難しい場合は、別途算出した認定率とする。 (注4)		連続地中壁工（コンクリート壁）		作 業 床		コンクリート打込完了、確認済み		80%		但し、左記の認定により 難しい場合は、別途算出した認定率とする。 (注4)	
			軌 条																	
			ガイドウォール																	
			連壁掘削																	
			連壁コンクリート																	
			連壁鉄筋																	
			連壁継手																	
			プラン・ト機械組立解体																	
			泥土処理																	
	(地中連続壁工)		作業床		1. 造成完了、確認済み 2. 頭部処理完了		80% 100%		大口径ボーリングマシンによる場所打ち杭工を含む。 但し、左記の認定により 難しい場合は、別途算出した認定率とする。 〈注〉4		(地中連続壁工)		作業床		1. 造成完了、確認済み 2. 頭部処理完了		80% 100%		大口径ボーリングマシンによる場所打ち杭工を含む。 但し、左記の認定により 難しい場合は、別途算出した認定率とする。 〈注〉4	
			ガイドトレンチ																	
			ソイル壁																	
			プラン・ト機械組立解体																	
			H 鋼 杭																	
			泥土処理																	
	仮締切工 仮橋・作業構台工		前記打込式の土留め、路面覆工に準ずる。						仮締切工 仮橋・作業構台工		前記打込式の土留め、路面覆工に準ずる。									
	仮水路工 電力設備工		1. 設置完了 2. 撤去完了		40% 100%						仮水路工 電力設備工		1. 設置完了 2. 撤去完了		40% 100%					
排水工事	地下水位低	ウェルポイント		1. 設置完了 2. 運転完了 3. 撤去完了 但し、管きょ工事の場合は出来高延長比率を乗ずるものとする。		15% 90% 100%		(注5)		排水工事	地下水位低	ウェルポイント		1. 設置完了 2. 運転完了 3. 撤去完了 但し、管きょ工事の場合は出来高延長比率を乗ずるものとする。		15% 90% 100%		(注5)		
		開削水替 立坑水替 ポンプ排水		出来高延長比率とする。 出来高掘削比率とする。				(注5)				開削水替 立坑水替 ポンプ排水		出来高延長比率とする。 出来高掘削比率とする。				(注5)		
	地盤改良工事	補助地盤改良工	薬液注入		1. 打設完了、効果確認済み		80%				地盤改良工事	補助地盤改良工	薬液注入		1. 打設完了、効果確認済み		80%			
			高圧噴射攪拌		2. 掘削、掘進完了、検査済み		100%						高圧噴射攪拌		2. 掘削、掘進完了、検査済み		100%			

【下水道施設土木工事編】添付資料 30 下水道工事（土木）出来高査定運用基準（案）				経年変化に伴う見直し		P. 添 30-5							
現 行					改 訂								
別 表 下水道工事(土木)出来高認定率					別 表 下水道工事(土木)出来高認定率								
分類	種別. 細別		認 定	認定率	備 考		分類	種別. 細別		認 定	認定率	備 考	
管布設工事	管布設工		布設完了、検査済み	100%			管きよ工	管布設工		布設完了、検査済み	100%		
	管保護工		型枠撤去完了、検査済み	100%				管保護工		型枠撤去完了、検査済み	100%		
	布取設付工管	取付管	埋戻完了、検査済み	100%				布管	取付管	埋戻完了、検査済み	100%		
		支管取付	取付完了、検査済み	100%					支管取付	取付完了、検査済み	100%		
	管工基礎	砂基礎	敷均し転圧完了、検査済み	100%				管工基礎	砂基礎	敷均し転圧完了、検査済み	100%		
		碎石基礎	敷均し転圧完了、検査済み	100%					碎石基礎	敷均し転圧完了、検査済み	100%		
コンクリート基礎		1. 型枠撤去完了、検査済み 2. コンクリート打込完了、検査済み	80% 100%			コンクリート基礎	1. 型枠撤去完了、検査済み 2. コンクリート打込完了、検査済み		80% 100%				
基礎工事	既製杭工		1. 材料搬入、検査済み 2. 打込完了、検査済み	60% 100%			基礎工事	既製杭工		1. 材料搬入、検査済み 2. 打込完了、検査済み	60% 100%		
	場所打ち杭工		打込完了、検査済み	100%				場所打ち杭工		打込完了、検査済み	100%		
推進工事（注2）	推進工	推進用鉄筋コンクリート管（管推進工）	1. 推進中（推進延長を対象とする）	80%	他の管種も同様とする。		推進工	推進用鉄筋コンクリート管（管推進工）	1. 推進中（推進延長を対象とする）	80%	他の管種も同様とする。		
		発生土処理	処分完了で、推進完了部分に対応する処理量とする。	100%									
		泥水運搬処理	処分完了で、推進完了部分に対応する処理量とする。	100%									
		管目地裏込め注入	施工完了、検査済み	100%									
	立坑内管布設工		布設完了、検査済み	100%			立坑内管布設工		布設完了、検査済み	100%			
	仮設備工	支圧壁	1. 推進完了（但し、推進中は1/L×60%） 2. 撤去完了	60% 100%	但し、左記の認定により 難しい場合は、別途算出した認定率とする。 （注4） （注7）		仮設備工	支圧壁	1. 推進完了（但し、推進中は1/L×60%） 2. 撤去完了	60% 100%	但し、左記の認定により 難しい場合は、別途算出した認定率とする。 （注4） （注7）		
		クレーン設備組立撤去											
		立坑基礎											
		坑口											
		鏡切り											
		中押し装置											
		推進用機器据付撤去											
		掘進機発進用受台											
		掘進機引上用受台											
		掘進機据付											
		推進設備等設置撤去											
		推進設備等据替											
		刃口及び推進設備											
		掘進機回転据付	回転据付完了	100%									
	掘進機搬出	搬出完了	100%										
	通信・換気設備工		1. 推進完了（但し、推進中は1/L×60%） 2. 撤去完了	60% 100%			通信・換気設備工		1. 推進完了（但し、推進中は1/L×60%） 2. 撤去完了	60% 100%			
	送排泥設備工				送排泥設備工								
	泥水処理設備工		1. 推進完了（但し、推進中は1/L×60%） 2. 撤去完了	60% 100%			泥水処理設備工		1. 推進完了（但し、推進中は1/L×60%） 2. 撤去完了	60% 100%			
	注入設備工				注入設備工								
	推進水替工		推進出来高延長比率とする.				推進水替工		推進出来高延長比率とする.				
マンホール設置工事	組立マンホール設置工		設置完了、検査済み	100%			マンホール設置工事	組立マンホール設置工		設置完了、検査済み	100%		
	中間ます設置工				中間ます設置工								
ます設置工事	集水ます 雨水ます 簡易集水ます		設置完了、検査済み	100%			ます設置工事	集水ます 雨水ます 簡易集水ます		設置完了、検査済み	100%		

【下水道施設土木工事編】添付資料 30 下水道工事（土木）出来高査定運用基準（案）				経年変化に伴う見直し		P. 添 30-6													
現 行						改 訂													
別 表 下水道工事(土木)出来高認定率						別 表 下水道工事(土木)出来高認定率													
シールド工事	分類	種別・細別		認 定	認定率	備 考		管きょ工（シールド工事）	分類	種別・細別		認 定	認定率	備 考					
	一次覆工	シールド本体	1. 工場製作、仮組立検査済み		100%	現地組立、輸送費、運転指導費を除く			一次覆工	シールド本体	1. 工場製作、仮組立検査済み		100%	現地組立、輸送費、運転指導費を除く					
			2. 現地搬入、組立検査済み			2. 現地搬入、組立検査済み													
		セグメント	1. 工場製作完了、仮組立検査済み		100%	運搬費、シール材貼付を除く			セグメント	1. 工場製作完了、仮組立検査済み		100%	運搬費、シール材貼付を除く						
			2. 現地搬入、組立検査済み			2. 現地搬入、組立検査済み													
		覆工セグメント	一次覆工完了、検査済み		100%				覆工セグメント	一次覆工完了、検査済み		100%							
		機械器具損料	一次覆工出来高延長比率とする。			(注5)			機械器具損料	一次覆工出来高延長比率とする。			(注5)						
		発生土処理 泥水処理	処分完了で、一次覆工完了部分に対応する処分量とする。 但し、掘進完了の場合には、シールド機内の掘削処分量を含むことが出来る。		100%				発生土処理 泥水処理	処分完了で、一次覆工完了部分に対応する処分量とする。 但し、掘進完了の場合には、シールド機内の掘削処分量を含むことが出来る。		100%							
	裏込材料 作泥材料	一次覆工出来高延長比率とする。			(注5)		裏込材 作泥材		一次覆工出来高延長比率とする。			(注5)							
	空伏セグメント	組立完了、検査済み		100%			空伏セグメント		組立完了、検査済み		100%								
	二次覆工	覆工コンクリート	二次覆工完了、検査済み		100%				二次覆工	覆工コンクリート	二次覆工完了、検査済み		100%						
			鉄 筋	組立完了、検査済み		100%					鉄 筋	組立完了、検査済み		100%					
	仮設 備 工	立坑基礎 支 圧 壁 坑 口 鏡切り		(一次覆工の場合) 一次覆工延長以内の出来高率とする。		60%	但し、左記の認定により 難しい場合は、別途算出した認定率とする。 (注4) (注7)		立坑基礎 支 圧 壁 坑 口 鏡切り	(一次覆工の場合) 一次覆工延長以内の出来高率とする。		60%	但し、左記の認定により 難しい場合は、別途算出した認定率とする。 (注4) (注7)						
			立坑内作業床 軌条設備 シールド機発進用受台 シールド機引上用受台	(二次覆工の場合) 1. 二次覆工完了 (但し、二次覆工中は1／L×60%)						100%	立坑内作業床 軌条設備 シールド機発進用受台 シールド機引上用受台				(二次覆工の場合) 1. 二次覆工完了 (但し、二次覆工中は1／L×60%)				
				シールド機 後続台車設備	2. 撤去完了										シールド機 後続台車設備	2. 撤去完了			
					シールド機据付 シールド機仮発進													シールド機据付 シールド機仮発進	
		シールド機搬出		搬出完了		100%			シールド機搬出			搬出完了			100%				
		シールド機解体残置	解体完了		100%	シールド機解体残置			解体完了		100%								
		シールド機回転据付	回転据付完了		100%	シールド機回転据付			回転据付完了		100%								
		坑内整備工	整備完了、検査済み		100%	坑内整備工			整備完了、検査済み		100%								
		坑内設備 工	配管設備 換気設備 通信配線設備	(一次覆工の場合) 一次覆工延長以内の出来高率とする。 (二次覆工の場合)		60%			但し、左記の認定により 難しい場合は、別途算出した認定率とする。 (注4) (注7)		配管設備 換気設備 通信配線設備	(一次覆工の場合) 一次覆工延長以内の出来高率とする。 (二次覆工の場合)			60%	但し、左記の認定により 難しい場合は、別途算出した認定率とする。 (注4) (注7)			
			スチールフォーム設備	1. 二次覆工完了 (但し、二次覆工中は1／L×60%) 2. 撤去完了							100%	スチールフォーム設備						1. 二次覆工完了 (但し、二次覆工中は1／L×60%) 2. 撤去完了	
	立坑設備 工			立坑クレーン設備 土砂搬出設備 立坑内仮設階段	(一次覆工の場合) 一次覆工延長以内の出来高率とする。		60%						立坑クレーン設備 土砂搬出設備 立坑内仮設階段		(一次覆工の場合) 一次覆工延長以内の出来高率とする。			60%	但し、左記の認定により 難しい場合は、別途算出した認定率とする。 (注4) (注7)
			坑外設備工 (仮囲門扉)	(二次覆工の場合) 1. 二次覆工完了 (但し、二次覆工中は1／L×60%)		60%					坑外設備工 (仮囲門扉)		(二次覆工の場合) 1. 二次覆工完了 (但し、二次覆工中は1／L×60%)						
		泥水設備 工		送排泥管設備 送. 排泥ポンプ設備 中央管理計装設備 泥水処理設備	2. 撤去完了				100%	送排泥管設備 送. 排泥ポンプ設備 中央管理計装設備 泥水処理設備	2. 撤去完了		100%						
	シールド水替工		一次覆工出来高延長比率とする。			(注5)			シールド水替工	一次覆工出来高延長比率とする。			(注5)						

【下水道施設土木工事編】添付資料

30

下水道工事（土木）出来高査定運用基準（案）

経年変化に伴う見直し

P. 添 30-8

現行

別表
下水道工事(土木)出来高認定率

分類	種別・細別	認 定	認定率	備 考	
その他工事	舗装復旧工	復旧完了、検査済み	100%	仮復旧、一次復旧、二次復旧等	
	道路付属物復旧工	復旧完了、検査済み	100%	区画線標示工、道路境界石工等	
	マンホール蓋取替工	施工完了、検査済み	<u>100%</u>		
	マンホールインバート工				
	<u>管渠更生工</u> 浚渫工				
	共通仮設費	率分	直接工事費の出来高率とする。		(注5)
		準備費 役務費 安全費 技術管理費 営繕費 事業損失防止施設費 イメージアップ費	設置及び施工中のもの	認定による	(注4) 小規模工事等については直接工事費の出来高率とすることができる。 (注5) (注6)
		現場管理費	純工事費の出来高率とする。		(注5)
		一般管理等	純工事費の出来高率を乗じた額以内とする。		(注5)

(注1) 処理場工事等とは、処理場工事、ポンプ場工事、貯留池工事等をいう。

(注2) 推進工事とは、刃口推進工事、密閉型推進工事、小口径推進工事をいう。

(注3) 実数量は、設計数量に対応する出来高数量とする。

(注4) 「別途算出した認定率とする。」、「認定による」とは、単価調書を使用して出来高に相当する認定率を算出することをいう。

(注5) 延長比率、出来高率は、パーセント単位で小数一位止め(二位以下切捨て)とする。

認定率は、パーセント単位で小数一位止め(二位以下切捨て)とする。

(注6) 小規模工事等とは、建込式による管きょ開削工事、マンホール蓋取替工事、工事跡舗装復旧工事、管渠更生工事、マンホールインバート工事、処理場・抽水所施設補修工事、処理場・抽水所場内整備工事、浚渫作業をいう。

(注7) 箇所表示されている工種の出来高数量は、小数一位止め(二位以下切捨て)とする。

改訂

別表
下水道工事(土木)出来高認定率

分類	種別・細別	認 定	認定率	備 考			
その他工事	舗装復旧工	復旧完了、検査済み	100%	仮復旧、一次復旧、二次復旧等			
	道路付属物復旧工	復旧完了、検査済み	100%	区画線標示工、道路境界石工等			
	マンホール蓋取替工	施工完了、検査済み	100%				
	マンホールインバート工						
	浚渫工						
	更生工事	製管工法	<u>管きょ調査工</u>	<u>調査完了、報告書提出済み</u>	<u>100%</u>		
			<u>管きょ内洗浄工</u>	<u>製管完了</u>	<u>100%</u>		
			<u>製管工</u>	<u>製管完了</u> <u>裏込充填完了</u> <u>裏込注入工完了</u>	<u>50%</u> <u>80%</u> <u>100%</u>	<注8> <注9>	
			<u>裏込注入工</u> <u>マンホール管口仕上工</u> <u>取付管口仕上工</u> <u>管きょ内換気工</u> <u>管きょ内浚渫工</u>	<u>更生完了</u>	<u>100%</u>		
			反転・形成工法	<u>管きょ調査工</u>	<u>調査完了</u>	<u>100%</u>	
				<u>障害物撤去工</u>	<u>撤去完了</u>	<u>100%</u>	
		<u>反転・形成工</u> <u>本管仕上</u> <u>取付管仕上</u> <u>仮設備</u> <u>換気工</u> <u>管きょ更生水替工</u> <u>管きょ内浚渫工</u>		<u>更生完了</u>	<u>100%</u>		
			共通仮設費	率分	直接工事費の出来高率とする。		(注5)
				準備費 役務費 安全費 技術管理費 営繕費 事業損失防止施設費 イメージアップ費	設置及び施工中のもの	認定による	(注4) 小規模工事等については直接工事費の出来高率とすることができる。 (注5) (注6)
	現場管理費			純工事費の出来高率とする。		(注5)	
	一般管理等			純工事費の出来高率を乗じた額以内とする。		(注5)	

(注1) 処理場工事等とは、処理場工事、ポンプ場工事、貯留池工事等をいう。

(注2) 推進工事とは、刃口推進工事、密閉型推進工事、小口径推進工事をいう。

(注3) 実数量は、設計数量に対応する出来高数量とする。

(注4) 「別途算出した認定率とする。」、「認定による」とは、単価調書を使用して出来高に相当する認定率を算出することをいう。

(注5) 延長比率、出来高率は、パーセント単位で小数一位止め(二位以下切捨て)とする。

認定率は、パーセント単位で小数一位止め(二位以下切捨て)とする。

(注6) 小規模工事等とは、建込式による管きょ開削工事、マンホール蓋取替工事、工事跡舗装復旧工事、管渠更生工事、マンホールインバート工事、処理場・抽水所施設補修工事、処理場・抽水所場内整備工事、浚渫作業をいう。

(注7) 箇所表示されている工種の出来高数量は、小数一位止め(二位以下切捨て)とする。

<注8> スパン毎の認定とする。(点検マンホールは含まない)

<注9> 裏込注入工完了とは所定の圧縮強度が確認済みであることをいう。なお未確認の場合は80%とする。